

土木交通委員会

説明資料

令和6年3月13日

緑政土木局



目 次

頁

1	アセットマネジメントについて -----	1
(土木管理費)		
2	インフラ分野のDXの推進について -----	2
(道路橋りょう総務費)		
3	弥富相生山線の調査検討について -----	5
(交通安全施設費)		
4	通学路の更なる安全対策について -----	6
(公園維持費)		
5	有料公園施設の運用改善について -----	7
(公園整備費)		
6	名城公園北園の再生について -----	8
(農業振興費)		
7	なごや農業「まるっと支援」事業について -----	9

1 アセットマネジメントについて

(1) 趣旨

計画的な点検により施設の劣化度（健全度）を把握し、それに基づく対策を実施することで、施設の長寿命化を進め、コストの縮減及び平準化を図る。

(2) 取組の進め方

「名古屋市公共施設等総合管理計画（令和4年5月策定）」に基づき、施設ごとの具体的な対策内容を定めた個別施設計画を策定し、計画的な調査・点検、維持管理・更新を実施。

(3) 予算額

区 分	令和5年度	令和6年度
道 路 施 設	12,568	12,740
道 路 橋	4,219	4,219
車 道 舗 装	4,885	4,885
そ の 他	3,464	3,636
河 川 施 設	3,135	3,342
公 園 施 設	1,151	1,151
計	16,854	17,233

2 インフラ分野のDXの推進について

(1) 名古屋市役所DX推進方針

ア 目的

デジタルの活用を前提にあらゆる市民サービスや市役所の業務を「変革」し、市民一人ひとりにより適した市民サービスを目指す。

イ 基本方針

- ・全体最適の視点による見直し
- ・ユーザー視点による見直し
- ・データ化・自動化によるデジタルでの完結
- ・場所や手段を限定しないサービス提供・働き方
- ・標準化・共通化によるサービス・業務の最適化
- ・最新技術の活用によるサービス・業務の高度化
- ・全組織、全職員一体でのDXへの取り組み
- ・アナログ規制の見直し

(2) インフラ分野のDXアクションプラン（国土交通省）

ア 目的

i-Constructionを中核とし、建設現場の生産性の向上に加え、業務、組織、プロセス、文化・風土や働き方を変革する。

イ 方向性

(ア) インフラの作り方の変革

公共工事に係るシステム・手続きや工事書類のデジタル化

(イ) インフラの使い方の変革

インフラ利用申請のオンライン化、効率的・効果的な維持管理

(ウ) データの活かし方の変革

データ連携による情報提供推進、施策の高度化

(3) 緑政土木局DX推進計画

ア 概要

「名古屋市役所DX推進方針」と「インフラ分野のDXアクションプラン」を踏まえて策定している「緑政土木局DX推進計画」に基づき、市民・事業者の利便性向上、職員の働き方の改革を主眼に、業務の効率化・高度化を目指す。

イ 体系

領域	施策
ネットワーク基盤	関係者間をつなぐネットワーク基盤構築の推進
システム基盤	GISを活用したデータベースによるシステム基盤構築の推進
オンライン申請	申請・承認・許可の手続き（キャッシュレス決済含む）におけるオンライン化の推進
i-Construction	施設点検におけるデバイス活用の推進
	現場管理における遠隔化・自動化・自律化の推進
	電子データ化によるペーパーレスの推進
	ウェブ等による情報提供の推進

ウ 令和6年度実施内容

領域	概要	内容
ネットワーク基盤	市民、事業者、職員や現場と事務所をつなぐ基盤を構築し、外部環境との接続の円滑化を推進	次期ネットワーク移行対応の検討 行政ネットワーク無線の構築
システム基盤	データベースを構築し情報を集約することにより、情報の共通化・横断的な利用による作業の効率化を推進	土木積算システム更新のための工事事務システムの改修 インフラDX基盤システムの検討 共通ワークフロー基盤対応要件調査 Microsoft office 365対応 建設CALSシステム改修のための検討
オンライン申請	各種手続において、オンラインサービスを活用し、市民、事業者、職員にとって便利で円滑な手続を導入	道路占用許可等のオンライン電子申請の検討（キャッシュレス決済含む）
i-Construction	施設点検・現場管理・事務作業等にICT技術を導入し、業務の効率化及び高度化を推進	遠隔臨場の検討

3 弥富相生山線の調査検討について

(1) 令和5年度の取組

ア 折衷案の検討

- ・新技術や先進事例等の収集
- ・構造の検討
- ・使い方の検討
- ・緑地環境への影響評価

イ 折衷案の素案の作成

つなぎ方について複数の素案の作成

ウ アンケート調査

折衷案のヴィジョン、使い方及びつなぎ方について、市民へのアンケート調査を実施

エ 有識者への意見聴取

折衷案について有識者へ意見聴取を実施

(2) 令和6年度の予定

ア 折衷案の作成

- ・運用等の検討
- ・地域住民への意見聴取

イ 予算額

7,000千円

4 通学路の更なる安全対策について

(1) 背景

令和4年3月に瑞穂区の交差点において、児童2名が青信号の横断歩道を歩行中に自動車に衝突される死傷事故が発生

(2) 目的

- ・子ども目線、ドライバー目線からの見通しを確保する
- ・ドライバーに交差点等を認知させる

(3) 対象箇所数

131箇所（通学路で片側2車線以上の幹線道路を平面横断する箇所）

(4) 対策内容

年 度	区 分	主 な 内 容	予 算 額
令和5年度	路面標示	エスコートマーク 注意喚起路面標示	千円 106,960
令和6年度	防護柵設置	ガードパイプ	447,000
	街路樹撤去	高木・低木撤去	
	路面標示	横断歩道カラー	

5 有料公園施設の運用改善について

(1) 利用登録者の更新

ア 目的

スポーツ・レクリエーション情報システムの利用登録者に対し、定期的に登録事項を確認し更新する仕組みを導入することで、利用意思がない利用者の登録情報を廃止し、本人の意思によらない利用申込を防止するもの。

イ スケジュール

年 度	内 容
令和 6 年 度	システム改修
令和 7 年 度	更新手続開始

(2) スポーツ・レクリエーション情報システムの再構築

ア 目的

利用者にとってより便利で利用しやすい仕組みをつくるもの。

イ スケジュール

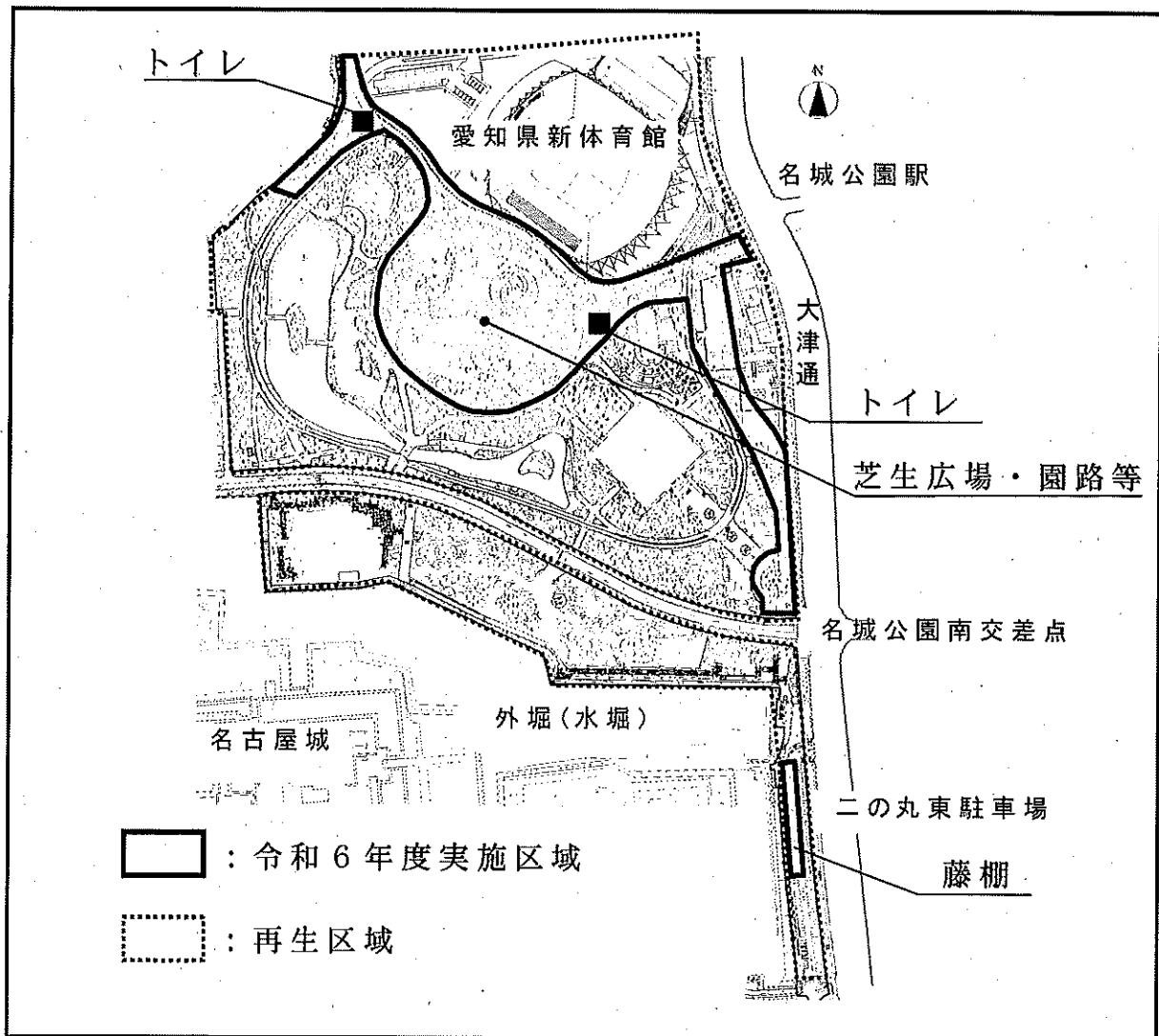
年 度	内 容
令和 6 年 度	検討調査
令和 7 ～ 9 年 度	要件調査、システム開発、システム切替

6 名城公園北園の再生について

(1) 主な内容

- ・芝生広場及び園路等の整備
- ・トイレの新築（2棟）
- ・藤棚の更新

(2) 箇所図



7 なごや農業「まるっと支援」事業について

区 分	主 な 内 容
農のウェブサイト運営	農に関する情報を集約したウェブサイトのコンテンツの充実
地元農産物販売支援	農業者と事業者が交流する機会の創出や農産物加工品のPRを実施
名古屋コーチンのブランド力強化	名古屋コーチンの消費拡大を図るため、PRイベントや、他都市でのプロモーションを実施